

コロナウイルス文献情報とコメント(拡散自由)

2022年4月5日

オミクロン株流行中の中国で「ゼロコロナ戦略」はようになるか

【松崎雑感】

日本では毎日3万人前後の感染者。人口が10倍の中国では、有症状感染者が2千人弱という事で、二桁低い感染者数のようです。これは中国のゼロコロナ戦略の成果と言えますが、一方、高齢者のワクチン接種率は、高齢者で低いようです。香港は感染アウトブレイクで大変な状況のようですが、本土政府から漢方薬を使えば、という「アドバイス」があるとのこと。さて…。

国によって、コロナ対策は違います。感染状況をリアルに把握するためには、そしてそれに応じて適切な対策を決めるためには、「全員PCR検査」を行う中国のやり方が適切だと思う今日この頃です。

オミクロン株流行中の中国で「ゼロコロナ戦略」はようになるか

Dyer O. Covid-19: Lockdowns spread in China as omicron tests "zero covid" strategy. *BMJ*. 2022;376:o859. Published 2022 Mar 31.
doi:10.1136/bmj.o859

2020年初頭以来最大の新型コロナアウトブレイク＝オミクロン株BA.2系統
＝を押さえるため、上海はゼロコロナを目指すロックダウンに入った。

中国のGDPの4%を占める上海市が3月30日に記録的な新型コロナ感染者を記録したため、世界の原油価格は下落し、インドの製薬企業は原料不足に陥った。

上海の東部、900万の人口を抱える浦東地区は3月28日からロックダウンされた。黄浦江の橋は通行禁止となった。1500万が住む西部地区は浦東地区のロックダウンが解除された4月1日にロックダウンとなった。

しかし西部地区の多くは市当局が、感染者が減っていないという報告を受けて、その二日前からロックダウンを始めている。

西部地区のプーシーでは、ロボットが街頭に出て、ロックダウンスケジュールを告知している。東部地区の浦東では、顔認識機能を持つドローンが違反外出者を監視している。300万人の住む徐州市でも3月30日からロックダウンが開始された。

3月30日、ユニバーサルテストの結果、上海では5962人の感染が発見された（有症状者326人）。前日は4477人だった（有症状者96人）。

ロックダウンを2期に分けて行ったのは、1日に800万人の市民をすべて検査するためである。中国政府は、このような検査方針にもとづき、WHOに有症状感染者だけを確定症例として報告してきたと説明している。

その結果、世界各国の新型コロナ感染数を追跡するウェブサイトには、3月30日の中国の新規感染者数が1629名と掲載されている。

浦東では、いくつかの金融会社が、社員を自社に泊まりこませるというバブル戦略をとっている。上海西部では、市民が食料品などの買い占めに走っている。政府はそうならないようにすると言っているが、スーパーの商品はどんどん値上がりしている。

中国では、北東部の吉林市からロックダウン地域に野菜を供給するという約束が果たされなかったため、食料不足に対する不安が急速に高まっている。吉林市長は解任された。今週この市の共産党副書記長は、「このような事態が起きたことを深くお詫びする」と語った。

中国の「ダイナミック・クリアランス」戦略に基づいて、PCR検査陰性でも濃厚接触者をの自宅隔離を推奨し、検査陽性者は検疫センターと病院に隔離する対策が進められている。

3月30日現在、82の臨時病院が完成あるいは建設中である。この数は先週は33だった。

中国国内のSNSでは、臨時隔離センターの一つである上海国際見本市センターで、一般市民が防護服を着た人々に「隔離センターの中で交差感染が起きている」と抗議をしている動画が流れている。

吉林市の臨時病院は、建設作業員160人中90人が感染したと認めている。国営メディアは市民の怒りの声を取材し、2400万人がロックダウンのために移動できなくなっている市と省政府の対応を非難している。

現在の中国におけるアウトブレイクの規模は、わずか2名の死亡者を出したのみであり、国際的基準からするならごく小規模なものにとどまっている。

たとえば中国政府が無症状感染者も感染者数の公式統計に繰り入れたとしても、1日あたり10万人中3名以下の発生率であり、ゼロコロナ戦略が崩壊した香港（10万人中128名）、ウイズコロナ戦略の韓国（10万人中672名）よりはるかに少ない。

香港の病院の負荷は限界を超えた

上海では患者が急増しているが、香港と韓国では低下しつつある。この2か月間、香港の状況は破滅的だった。香港のコロナ病棟では、スペースが足りないため、人工呼吸器治療中の患者の周りに死亡した患者の遺体袋が置かれている[1]。

7週間前、香港の新型コロナ死者数はそれまでの6か月間213名のままで経過していた。現在、死亡者は7706名と中国本土の死亡数を越えている。人口あたり死亡数は中国本土の200倍となった。

香港の感染者に占める死亡者の割合は80才以上のワクチン未接種者では12%と世界最高となっている。

香港大学のモデリング部門は、最近の感染者のほとんどは発見されていないこと、次のウエーブで香港市民の3分の2が感染するだろうと予測した。香港市民の76.7%はワクチン接種を完了している。中国本土では87.9%である。

伝統医学の勸奨

香港の半自治都市政府は、ロックダウンの実施を検討したが、結局見送った。この反応は中央政府からの介入を強める結果となり、香港に対して臨時病院の建設と漢方医学の活用をアドバイスした。

今週本土政府から検査キット、マスク、新型コロナに効果があると中国政府が発表している蓮花清文（新型インフルエンザ時に使われた解熱作用のある漢方製剤）の入った「コロナ対策パッケージ」が送られてきた。しかし、香港の専門家は、この薬剤の効果は証明されていないと警告している。

今週、香港のキャリー・ラム行政長官は本土から中医専門家を招いて、新型コロナ治療に関する助言を求めた。彼女は「中国医学が感染予防と回復に効果がある」と述べた。

長官は、伝統的中国医学が、香港の未来に貢献するだろう、西洋医学に基づく病院のシステムはかえって医療分野における発展を阻害している、と語った。